

高齢者の総合相談窓口です

ちいきほうかつしえん

地域包括支援センターだより

白糠町役場 保健福祉部 介護健康課 介護支援係

第25号

(白糠町地域包括支援センター) ☎2-2171 内線522.526 (平成28年4月発行)

認知症ってどんな症状なの？

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、今では85歳以上の4人に1人に認知症状が出現するとまで言われています。認知症の症状にはどんなものがあるのでしょうか？認知症の症状についてごく一部ですがご紹介いたします。



◎中核症状（脳の細胞が壊れ、直接起こる症状の事を言います）

○記憶障害

脳の一部の細胞が壊れ、その働きを失うと覚えられない、すぐ忘れてしまう。

○見当識障害

時間や季節感がわからなくなり、道がわからなくなったり、認知症が進行すると人物との関係などがわからなくなります。

○理解力判断力の低下

考えるスピードが遅くなり、2つ以上の事が重なると上手く処理できなくなります。いつもと違う出来事があると混乱したり、機械の操作も困難になります。

○実行機能障害

計画を立てて、段取りをすることが困難になり、またその場の空気を読めなくなったりします。

◎行動・心理症状（中核症状がもとになり、性格や環境、人間関係が影響し出現する症状）

□元気がなくなり引っ込み思案になったり、自信を失いすべてが面倒に...

□トイレの場所がわからなくなったり、トイレに失敗したり、着替えが大変に...

□しまい忘れがきっかけに、盗まれた!に変わる。

◎認知症の本人に自覚がないは大きな間違いです！！

認知症状の症状に最初に気づくのは本人です。出来ていたことが出来なくなり、なんとなくおかしいと感じ始めます。認知症の人は何もわからないのではありません。誰よりも一番心配なのも、苦しいのも、悲しいのも本人なのです。「認知症の人」がいるのではなく、その方が認知症という病気になっただけなのです。

私たちがすべきことは、認知症の障がいを補いながら、さりげなく、自然に、支えていく。それが一番の支援なのです。



認知症の方を支えるのは特別な人ではありません。
誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や
家族を支える手立てを知っていれば「尊厳ある暮らし」を
みんな守ることが出来るはずです。



地域包括支援センターでは
認知症サポーター養成講座を行っています

* 認知症サポーターとは「なにか」特別なことをする人ではありません。
認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して
「温かい目で見守ること」がスタートです。

認知症は、他人ごとではありません。あなたも、認知症について学んで
みませんか？

町内会や職場、グループで、ご希望がありましたら、ご連絡下さい。



【連絡先】 白糠町役場介護健康課介護支援係 2-2171 (内線522)

介護は一人で抱え込まないで！！ 介護は、想像以上に大変です。

介護者の負担を軽くするポイント ⇒ 介護者同士の輪を広げましょう

介護健康課介護支援係では「かいご・にっこり会」を支援しています。

* 情報交換だけでなく、悩みの共有が心の負担を軽くしてくれます。

平成28年度の第1回かいご・にっこり会について

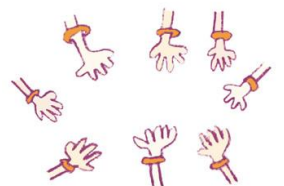
日程 5月19日(木曜日) 13:30~15:00

内容 介護サービスの紹介等を予定

場所 白糠町保健センター

連絡先 役場介護健康課介護支援係(白糠町地域包括支援センター)

2-2171 (内線522番)



介護に関するなやみごと・こまりごと、高齢者に関すること

地域に住む心配な高齢者の方の相談、介護サービスのこと

何でも 地域包括支援センターに ご相談ください。

まずはお電話で、お気軽にお問い合わせください。

